

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 661 号

2016年7月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

アルミ缶リサイクル率 2015年度77.1%に低下

アルミ缶リサイクル協会（遠藤政宏理事長）は6月17日、2015年度の飲料用アルミニウム缶リサイクル率（消費量と再生利用量の比、再生利用率）が前年度に比べ10.3%低下して77.1%で、過去10年間で最低水準にとどまったと発表した。

しかし、使用済みアルミニウム缶の輸出量を含めると90.1%だったため、協会の目標である「安定的に90%以上のリサイクル率を維持する」は上回った。

リサイクル率が80%を割り込んだのは、ここ10年間で初めてとなる。直近で最も低かったのは2013年度の83.8%であった。

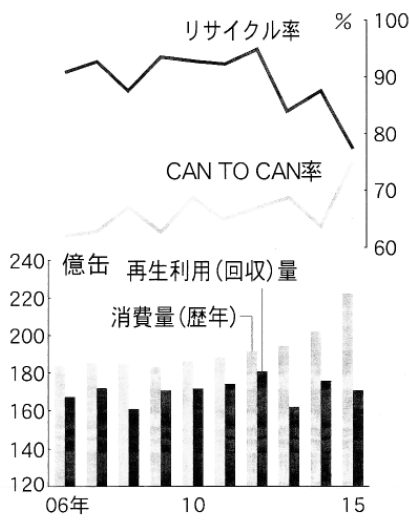
2012年9月ごろからアルミニウム・スクラップの輸出量が急増していることがリサイクル率に大きな影響を与えている。

韓国のアルミニウム圧延メーカーが缶材の大量生産に入り、日本からの缶スクラップの輸出が目立ち始めた。2015年度のアルミニウム・スクラップ輸出159千トンのうち缶スクラップは52.8千トンで33%を占めた。

アルミニウム缶材に使用される割合を示すCAN TO CAN率は前年比11.3%増の74.7%だった。過去10年間では2番目の高い水準。2007年度の92.7%を除けば、60%台での推移が続いていた。

アルミ缶リサイクル率の推移

（最近10年間）



アルミ缶回収の小・中学校表彰

アルミ缶リサイクル協会は毎年、アルミニウム缶の回収に取り組む、顕著な実績を挙げている小・中学校を表彰する「アルミ缶回収協力者優秀校表彰」を実施している。

このたび、平成28年度の推せん校の依頼が協会からアスカ工業株式会社へ寄せられており、当社ではアルミ缶納入業者の皆様から、回収実績のある小・中学校のご推せんを受けている。

アルミ缶リサイクル協会は7月末で応募を〆切る予定である。

平成27年度

アルミニウムと珪素の輸入

このほど平成27年度（平成27年4月から28年3月まで）のアルミニウムと珪素の輸入通関実績が下記のように発表された。（単位トン）

輸入数量を品目別に前年度と比較すると、

アルミニウム地金	79.4%
合金地金	92.6%
アルミと合金のくず	65.2%
珪素	94.0%

とアルミニウム地金とくずの輸入量の減少が目立つ。

アルミニウム地金は圧延品の需要に大きな落ち込みはなく地金の消費は順調と考えられることから、年度はじめと年度末の地金価格比が25%の一直線の下げを記録したことから流通在庫や消費者在庫が極端に圧縮された結果で、今年度は反転すると考えられる。

アルミと合金くずの輸入量の低下は、国内くずの発生の多いことと考えられる。

珪素輸入量の減少は合金地金生産量と同調し、輸入先でオーストラリアの進出が目立っている。

平成27年度アルミと珪素の輸入通関実績

A. アルミ地金 (99.0以上)

	平成27年度	平成26年度
①オーストラリア	350,829	479,164
②ロシア	213,456	322,609
③ブラジル	202,800	212,709
④南アフリカ	126,130	160,967
⑤アラブ首長国	123,382	149,690
⑥ニュージーランド	123,176	134,226
⑦サウジアラビア	82,011	108,645
⑧アルゼンチン	45,568	47,258
⑨マレーシア	28,061	44,036
⑩オマーン	23,796	4,256
⑪その他	50,205	61,378
⑫合計	1,369,414	1,724,938

B. 合金地金

①中国	346,208	384,945
②ロシア	272,677	281,160
③アラブ首長国	149,833	183,677
④ニュージーランド	59,457	56,686
⑤オーストラリア	46,925	55,227
⑥カタール	37,822	46,959
⑦ナイジェリア	35,760	37,941
⑧カナダ	27,244	29,179
⑨ウクライナ	18,289	17,071
⑩ベトナム	16,311	2,669
⑪その他	46,322	45,343
⑫合計	1,056,848	1,140,857

C. アルミとアルミ合金くず

	平成27年度	平成26年度
①アメリカ	19,191	23,572
②タイ	4,612	9,823
③台湾	4,267	6,697
④イギリス	4,222	6,117
⑤オーストラリア	4,067	5,443
⑥マレーシア	3,872	7,648
⑦中国	3,020	2,273
⑧イスラエル	2,884	3,889
⑨香港	1,481	3,423
⑩シンガポール	1,347	2,932
⑪その他	6,515	13,215
⑫合計	55,478	85,032

D. 珪素

①中国	171,671	187,458
②ノルウェー	5,178	4,123
③オーストラリア	3,371	174
④ブラジル	1,600	1,760
⑤南アフリカ	700	500
⑥フランス	344	863
⑦マレーシア	260	0
⑧韓国	210	63
⑨スウェーデン	100	63
⑩台湾	60	74
⑪その他	114	343
⑫合計	183,608	195,421

おめでとう 鈴木要郎君

鈴木要郎君（生産部）は
5月29日岡崎市のグラン
シエル岡崎で結婚式と盛大
な披露宴を挙げる。新婦は静
香さん。おめでとう。



社内情報

◎6月24日開催の社員総会で下記の皆さんの表彰式
が行われてました。

- ◎皆勤賞 山内文治 鈴木和久
- ◎準皆勤賞 都築勘弥 足立哲章 鈴木要郎
- ◎永年勤続 柘植茂雄 (40年)
- 飯田ジェルソン (25年)

◎皆さん、大へんお目出度う。
一層健康に留意して、次回の表彰を目指しましょう。

編集後記

□アスカ・アルミニウム・ニュース発刊は、1961年
（昭和36年）の7月号が第1号で、発刊以降55年
目の7月号です。

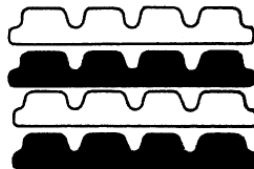
□発刊の年の6月1日、アルミニウム新地金が非鉄金
属のトップで輸入が自由化されたことが大ニュース
でありました。

□昭和36年の出来事——ベルリンに東独が壁を作る。
柏戸、大鵬横綱昇進、坂本九「上を向いて歩こう」ヒット。

アルミ缶リサイクルング 鑄造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分
で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、
ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れ
た強さ、鑄造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られま
す。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な
品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使
用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミ
ニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL <0563> 77-0500代
FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>